

平成30年7月24日（火）

# 地域支援センターさくらぎセミナー

## テーマ

「発達障がいのある児童生徒の二時障害への対応  
～愛着障害を中心として partⅡ～」



今年度のセミナーでは、昨年に引き続き、講師に宮城教育大学の植木田潤先生をお迎えして講演会を開催しました。今回は、昨年度の講演で大変好評であった愛着障害を中心に、予定の時間を超えてたっぷりとお話を伺いました。

暑い中、保育所、小・中・高等学校、特別支援学校などから、過去最多となる75名の参加がありました。



講師の植木田先生

「自分の怒りの状態」を隣の人と紹介し合うことで「アガ-マネジ-メント」の大切さについて学びました。

## 講演の紹介

初めに発達障がいの二次障害について、認知特性と環境要因の側面から、子どもの特徴を整理してお話ししていただきました。次に「アタッチメント（愛着）」のタイプをビデオで紹介していただきながら、アタッチメントの安定化のため教師に期待される姿勢等を詳しく教えていただきました。後半では、個別支援の取り組みとして、ソーシャル・スキル・トレーニングとアンガー・マネージメントに焦点を当て、「ほめる」ときのポイントなど、実践にすぐ役立つお話しをしていただきました。

植木田先生、ありがとうございました。

## ～参加者の感想から～

- ・アンガーマネージメントに関してのお話で色々気付かされることが多くありました。ありがとうございました。（小学校教員）
- ・とても勉強になり、力がわいてきました。2学期も頑張るモチベーションが上がってきました。ありがとうございました。（中学校教員）
- ・発達障がいの子に起こりうる心の問題について分析的に説明していただき、とても勉強になりました。（特別支援学校教員）



御参加いただき  
ありがとうございました。  
ございました。